

南向き土地信仰のワケ

「良い住宅」といえば南向きであることはいまや常識???

何が何でも南向きの土地を・・・探す前に、ちょっと他の条件を再確認してみませんか？
意外な落とし穴や、より良い選択肢が見つかも知れません。

「南向き信仰」ってなに???

日本では南向きにこだわる人が多く、南側に大きく窓を取っている住宅が良い住宅とされています。

日本の伝統的な住まいは木造在来工法で建てられたものが70%ですので窓などの開口部を大きく取ることができました。

私たち日本人は大きな開口部のある家に慣れ親しんできたこと、又清潔好きで、洗濯や布団干しを良くするので、そのような事が南向き信仰の大きな要因となっているといってもよいでしょう。

その様な嗜好から住宅の向きによって大きな価格の差が出てきてしまうのですが向き以外の物件にお得感が有ることは間違いありません。

今一度、本当に南向きが一番良いのか考えてみませんか？

今回は南向き物件のメリット、デメリットについて考えて見ましょう。

「南向きのメリット」

「明るく暖かい」このひとことに尽きるでしょう。

朝、夕方は直接陽は入らないものの、昼間は長時間明るく、部屋の中は暖かく、南側に物干しスペースが有れば早く乾きます。

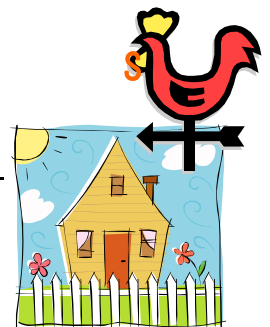
南向きの窓は「暑い」というイメージがありますが北東北での住まいでは問題ないですね。このように日中を家で過ごす時間の多い人には太陽の恵みを受けられるという点で大きなメリットが有ると思います

壁に窓が多いと、視覚的な広がり、開放感、明るいということで精神的にも大きな満足感が得られます。

「南向きのデメリット」

朝は、陽が入らない。

人間の体内時計は朝日を浴びることで整えられるといわれますが、朝日を浴びるのは東向きの窓です。朝早く起き、昼間は家にいない生活スタイルの人は南向きより東向き住宅の方が向いているかもしれません。



次回は、もう少し掘下げたお話・・・
お楽しみに！

メイクホーム



「目の前に建物があったら」

南側に大きな建物があるために陽がささなかったり、近接する住宅があるためカーテンを閉めっぱなしにしないなど、意外な盲点があります。購入の際には将来底に大きな建物が建つ可能性がないかを必ず確認しましょう。



「夏は暑い」

夏の暑さに弱い人は南向きは厳しい場合があります。庇やガラスの種類で日差しをさえぎる工夫が必要です。建物の南側に落葉樹を植えることでも対応できます。



「都市型住宅では難しい」

実際に狭い土地がひしめく都市型住宅では南側に大きな開口を持つこと自体困難なケースもあります。南向きに拘るよりもそのほかの条件を優先した方が、結果的に希望に近い住まいを手に入れる事ができると思います。

例えば、南側に窓を設けられなくても、小さな天窗があれば、3分の1の大きさと同じくらいの明るさを得ることも出来ます。

「その差が100万円！！」

もし気に入ったところに南向きの土地と北向きの土地が見つかってその価格差が**100万円**だったとしたら、私でしたら北向きの土地を選んでもいいのではないかと思います。100万以上差があることは多々ありますよ。

光を入れるテクニックはいろいろ有ると思います。トッフルライトや中庭などを設けるのもその一つだと思いますし正面は思い切って閉鎖的に作りこみ家の中に入ったら明るい光が上からサンサンと降り注いでいる方が面白くないでしょうか？家に入ったら以外に・・・、っていう家づくりも楽しいはずですよ。

土地はいろいろな可能性を秘めているので、方角に縛られず、いろいろな角度からその土地を眺めてみる事なのではないでしょうか？

方角だけでは土地のよしあしは決まらないはずです。